

実践・活動の振り返り演習のためのレポート

更

注意事項 「レポート記載要領(記載要領)」に沿って作成してください。

記載要領に沿って作成されていない場合、再提出になりますので必ずご確認ください。

本レポートは、演習プログラムで活用するため、同グループ内の受講者に配布します。

配布したレポートの回収の考え方は、開催形態により異なりますので、記載要領を必ずご確認ください。

私は、上記の注意事項を確認したうえでレポートを作成することを、氏名欄への記名をもって明示します。

氏名 _____ 本協会所属支部（都道府県）名 _____ 支部 _____

構成員番号 _____ 所属機関 _____

研修日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 開催方法 オンライン ・ 対面

〈項目1. 意識して取り組んだ役割や活動〉

前回の研修修了以降、「(研修) 認定精神保健福祉士」としてあなたが取り組んだ地域活動や役割について記入してください。

〈項目2. あなたが感じる地域課題〉

ソーシャルな視点に基づいて、あなたが感じる地域課題について記入してください。(400 字程度)

(例：都道府県協会・支部での自身の活動や役割に対する実践課題、実践を通して感じる地域課題、多職種・多機関との連携、後進育成など)

〈項目3. 課題解決に向けた取り組み〉

項目2. で挙げた地域課題の解決に向けて、地域へのかかわりと都道府県協会・支部等への関与について、あなた自身の取り組み・考えについてまとめ、記入してください。(400 字程度)

必読

レポート記載要領

更新研修のレポートは、前回の研修修了以降、どのような実践や研鑽を積み上げてきたか、自らのソーシャルワーク実践を価値・知識・技術に照らして検証することを作成の目的としています。

- ・精神保健福祉士としての専門性を点検する
- ・日々の実践における課題を明確にする
- ・各地域や都道府県協会・支部等での後進育成について考える

【作成上の留意点】

- ・ 全ての項目（記載欄）にご記入ください。
- ・ **〈項目1. 意識して取り組んだ役割や活動〉**
 前回の研修以降、精神保健福祉士の質の維持・向上等にあなたはどのように努めてこられたか、ご自身の活動の振り返り、意識の変化などグループ内で共有できるような記載をしてください。
 役割や活動には、生活者としての地域諸活動（ボランティア活動、育児サークルの運営など）も含まれますし、「所属機関地域や居住地域等での地域活動、都道府県協会・支部の参画状況、各団体での役割、ソーシャルアクションの概要など」の取組みも含まれます。
- ・ **〈項目2. あなたが感じる地域課題〉**
 ソーシャルな視点*に基づいて、解決したい地域課題を記入してください。例として、自分も含めて日々の業務に追われ、都道府県協会の活動に参加できていない、地域のつながりが希薄になっている人が増えていると感じる等。
- ・ **〈項目3. 地域課題解決に向けた取組み〉**
 項目2. で挙げた地域課題の解決に向けて、地域へのかかわりと都道府県協会・支部等への関与（どのようにかかわっていけるとよいか）等、あなた自身の取組み・考えについてまとめ、記入してください。例として、都道府県協会の活動に参加するなど。

【レポートの取り扱い】

- ・ 提出された全てのレポートは、受講者相互の守秘義務の徹底を呼びかけるとともに、提出いただいたレポートは本協会研修センターで厳重に保管します。ただし、「実践・活動の振り返り演習」の際にグループ討議で活用するため、同じ班の受講者に配布いたします。開催形態によってレポートの回収ができないことがあります。記載には十分ご注意ください。

＜オンライン開催の場合＞

Zoom ミーティングでの演習という性質上、回収はできません。

＜対面開催の場合＞

原則として回収はいたしません。

提出者が回収を希望する場合は、各自の責任において、班内で回収してください。

- ・ レポートは、「実践・活動の振り返り演習」のグループ討議で活用するため、同じ班の受講者分を事前（当日）配布します。どの方の（或いは全員の）レポートを採用し、検討するかは班内で協議いただきます。
- ・ 班内でのレポート発表時間は1人につき3～4分が目安です。